

活動名 自分がすき, 学校がすき, 地域がすき そして田島の自然が大すき	団体名	見たい・知りたい・内浦探検隊
	地域	広島県福山市
	代表者	内浦小学校 校長 田口恵子
	支援金額	30万円
活動概要	<p>内浦探検隊の活動は、田島に生まれ育った子どもたちが、海で生きてきた人々の素晴らしい技術や知恵、温かさを自ら探り、肌で感じ、海を守り島の魅力を発信することを目的とした活動である。田島の人々の生き方や知恵を調べ、調べたことをまとめ、劇にしたり、プレゼンテーションしたりして文化祭や小中合同発表会、環境発表会等で発信した。伝えたい場所や様子を写真に撮り、俳句を添え、ふるさと内浦を広くアピールするための「内浦30選」のパネルを作成した。本校の伝統になっている調べ学習をもとにした劇の貴重なシナリオ30年分を4冊の本にまとめ、保護者・地域の方に配布、資料館にも寄贈した。</p> <p>◆実施時期 2015年4月～2016年1月</p> <p>◆参加人数 調べ学習、発表（文化祭）に向けての練習・準備・当日お手伝い 48名 (児童15人+講師等5人+教職員・地域24人+協力者4人) 写真、俳句の取材・作成 24名 (児童15人+講師1人+教職員8人) 資料作成 8名 (協力者)</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 75名</p>	



うしお祭劇 1



うしお祭劇 2



フィリピンに移住していた田島の方からの聞き取り



天神社見学

◆実施に伴う効果

毎年地域の調べ学習をしているが、今年度は「フィリピン移民の歴史」ということで、講師を招聘したり校区外へ行って確認をしたり調べたりすることが多く経費もかかった。しかし、この歴史を調べ劇化したことを、新聞で多くの方にPRしていただいたことも合わさって、地域の方や地域外からも文化祭に来ていただいた。このような歴史があったことを初めて知ったという声もあり、今後もこのような活動を進めていくよう地域から賛同を得た。

子どもたちにとっても、大作をやり終えたことで、故郷を大切に思う気持ちと、人前に立つ自信をもつことができた。さらに、来年度は、自らの調べ学習を中心として、地域を巻き込んだ主体的な学習ができると考える。今年度のシナリオとDVDを県立図書館と国立図書館へも寄贈予定である。また、児童の撮影した写真、俳句による「内浦30選」のパネルを作成、うしお祭における故郷をテーマにした調べ学習の成果としての劇のシナリオ集30年分を「ふるさとをつなぐ」として本にまとめ配布した。地域の歴史資料館にも寄贈した。今後貴重な資料として残るであろう。

◆苦勞した点

特に苦勞と感じたことはなかった。支援を受け、今までの念願だったことが実現する喜びの方が大きかった。地域からの理解も得ることができ、外部へのPRも新聞に載せていただくことができた。

◆今後の課題・発展の方向性

今後、「見たい・知りたい・内浦探検隊」は、さらに児童の主体的な調べ学習を大切に、途切れることなく、地域の歴史の掘り起こしをしていくものにしていきたいと思う。本校では、海についての環境教育も進めていて、海のゴミ拾いを学期に1回地域・保護者と共に行っている。海の環境を守ることは、海を知ることから始まる。ゴミにだけ目を向けるのではなく、来年度は、探検隊の活動で地域の海の生態にも目を向けさせ、主体的に守ろうとする気持ちから環境教育を進めていこうと考えている。

◆活動を終えての感想・意見等

今回、ご支援をいただき、児童と共に地域の探検、うしお祭での発表、そして、是非やりたいと思っていた地域のPR、地域の大切なものを繋いでいく冊子ができましたこと、児童と共に喜び大変満足しています。支援があったからこそ実現できたことです。作成した財産を有効活用することと、今後も、児童と共に更なる地域探検を楽しく実のあるものにしていきたいと思えます。ありがとうございました。